

EDITORS' CHOICE

基本マスター BASIC 英会話

【本書の特長】

英会話に必要な基本パターン 75 を厳選！ 社会人のやり直し英会話

- ▶ 英会話を勉強するからには、すぐしゃべってみたい！ よく使う会話の基本パターンを厳選し、実用的な例文を多数紹介。丸暗記しても、単語を入れ替えても、しっかり伝わる大人の英語が話せます。

著者：大井 正之

判型：四六判 CD 付き

定価：1,760 円（本体 1,600 円）

ISBN：978-4-87615-266-7 好評発売中！

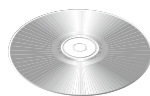
売中！

基本マスター

BASIC

英会話

大井正之
Masayuki Oi



CD付き

語研

はじめに

私たちは会話をする時、まず相手が誰かやこれから何について話すかを判断し、もっとも状況にあう言葉を選んで口にしていきます。この一連の流れは、日本語ではスムーズにできますが、英語となるとそうはいきません。それは、英語は日本語と文の仕組みが異なるため、文を組み立てるのに時間がかかるからです。しかし、人と会話をしている時にじっくり考えている時間はありませんから、自分の言いたいことをすばやく英語に組み立てる作業が必要になります。

そんなときに私たちを助けてくれるのが、英語の基本となる文型です。じつは、英会話に出てくる文の構造は、それほど複雑なものではありません。必要最低限の基本パターンさえしっかり押さえていれば、あとは場面や用途に応じて語（句）を入れ替えるだけで、シンプルでしっかり伝わる英語表現になります。

本書では英語の骨格となる基本文型をガチッと押さえて、いろいろな表現ができるようにしました。また、英語圏のネイティブ・スピーカーが普段よく使う言葉や言い回しをふんだんに取り入れてありますので、どなたでも、すぐに使える生きた英語を学び、習得できるようになっています。

本書を作成するにあたり、(株)語研編集部 田尻まど香さん、武島奈津紀さんにはお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

大井正之

目次

はじめに.....	3
本書の特徴.....	7
本書の使い方.....	8

Chapter 1 超基本のパターン 03-23

1 I'm ... 「私は～です」.....	10
2 You are ... 「あなたは～です」.....	12
3 She is .../ He is ... 「彼女は～です/彼は～です」.....	14
4 It is ... 「それは～です」.....	16
5 This is ... 「これは～です」.....	18
6 We are .../ They are ... 「私たちは～です/彼ら [彼女ら] は～です」.....	20
7 I was ... 「私は～でした」.....	22
8 I + 一般動詞 「私は～します」.....	24
9 Do you + 一般動詞? 「あなたは～しますか」.....	26
10 I don't + 一般動詞 「私は～しません」.....	28
11 I have ... 「～を持っています」.....	30
12 I feel ... 「～だと感じる, ～の気持ちがある」.....	32
13 I like ... 「～が好きです」.....	34
14 I see ... 「～が見える, わかる, ～に会う」.....	36
15 I got ... 「～をもらった, 手に入れた」.....	38
16 I'm + 動詞 -ing 「～している」.....	40
17 I'll ... 「～だろう, ～するつもりです」.....	42
18 I'm going to + 動詞の原形 「～しようとしている」.....	44
19 I've been ... 「ずっと～である」.....	46
20 I've done ... 「もう～した」.....	48
21 Have you ever ...? 「～したことがありますか」.....	50

Chapter 2 英会話に必須のパターン 25-37

22 I want to + 動詞の原形 「～したい」.....	54
23 I'd like + 名詞 「～をいただきたいのですが」 I'd like to + 動詞の原形 「～をしたいのですが」.....	56
24 Would you like + 名詞? 「～はいかがですか」 Would you like to + 動詞の原形? 「～するのはいかがですか」.....	58

25	I have to + 動詞の原形 「～しなければならない」.....	60
26	You don't have to + 動詞の原形 「～する必要はない」.....	62
27	I can ... 「～できる」.....	64
28	You can ... 「～してもいいですよ」.....	66
29	Shall I ...? 「～しましょうか」.....	68
30	Let's ... 「～しましょう」.....	70
31	Let me ... 「～させてください」.....	72
32	Can I ...? / May I ...? 「～してもいいですか」.....	74
33	Will you ...? 「～してくれない?」.....	76
34	Could you ...? 「～していただけますか」.....	78

Chapter 3 会話が広がる質問パターン 39 - 50

35	What's ...? 「～は何ですか」.....	82
36	What do you ...? 「何を～しますか」.....	84
37	How's ...? 「～はいかがですか」.....	86
38	Where ...? 「～はどこですか」.....	88
39	Which ...? 「どれが～ですか」.....	90
40	Who ...? 「～はだれですか」.....	92
41	When ...? 「いつ～ですか」.....	94
42	Why ...? 「なぜ～なのですか」.....	96
43	How about ...? 「～はどうですか」.....	98
44	How do you like ...? 「～をどう思いますか」.....	100
45	How much ...? 「～はいくらですか」.....	102
46	How long ...? 「どのくらい～ですか」.....	104

Chapter 4 会話をスムーズにする仕上げのパターン 52 - 80

47	By the way, ... 「ところで、～」.....	108
48	Probably 「たぶん、おそらく」.....	110
49	Actually, ... 「本当は、じつは、～」.....	112
50	..., right? 「～ですよ?」.....	114
51	Thank you. 「ありがとう」.....	116
52	Excuse me. 「すみません」.....	118
53	I'm sorry (that) ... 「～を申しわけなく思う、残念ながら～です」.....	120
54	I'd love to + 動詞の原形, but ... 「ぜひ～したいのですが、…」.....	122

55	I'm afraid (that) ... 「(残念ながら) ～と思う」.....	124
56	I hope (that) ... 「～だと願う」.....	126
57	Have (+形容詞) +名詞 . 「(形容詞) な～を過ぎてね」.....	128
58	I think that ... 「～だと思う」.....	130
59	What do you think about ...? 「～をどう思いますか」.....	132
60	I'm sure (that) ... 「きっと～だと思う」.....	134
61	You look ... 「～のように見える, ～そうだ」.....	136
62	I hear (that) ... 「～だそうだ, らしい」.....	138
63	It seems that ... 「～のようだ, ～らしい」.....	140
64	It is likely to +動詞の原形 「～しそうだである」.....	142
65	It is +形容詞 + to +動詞の原形 「～することは (形容詞) である」.....	144
66	I wonder ... 「～かしら (と思う)」.....	146
67	No wonder (that) ... 「～なのは当たり前だ」.....	148
68	Don't ... 「～しないで」.....	150
69	Take ... 「～を持っていく」.....	152
70	Please tell +人 + to +動詞の原形 「(人) に～するように伝えてください」.....	154
71	Here's ... 「これが～です」.....	156
72	There is ... 「～がある, いる」.....	158
73	As [Since/Because] +主語 +動詞 ..., 「～なので」	160
74	When +主語 +動詞 ..., 「～するとき」	162
75	If +主語 +動詞 ..., 「もし～すれば」	164
	文法の復習.....	168

【英文校正協力】 エートゥーゼット

【装丁】 神田昇和

【CD 吹き込み】 Jack Merluzzi / Carolyn Miller

音声 CD について

本書の付属音声 CD には、書名やトラック名などの文字情報は含まれておりません。本 CD をパソコンに読み込んだ際に表示される書名やトラック名などの文字情報は、弊社の管理下でない外部のデータベースを参照したものです。あらかじめご了承ください。

CD 収録時間：55 分 25 秒

本書の特徴

本書は英会話に必要な基本パターン（文型）を 75 厳選し、実用的な例文とともに紹介しています。本書の大きな特徴は以下のとおりです。

- シンプルなパターン（文型）から順に効率よく学習できる配列になっています。
- 「見開き完結型」になっているので、読みやすく、ページをめくるごとに新しい文型をひとつずつ学ぶことができます。
- 基本の使い方から応用まで順を追って進めるように、Step でパターンのレベルを分けています。
- 例文のほとんどが、日常会話で頻出する実用的なフレーズなので、丸覚えをしてすぐに使えます。また、入れ替え語（句）を使っていろいろな英文を自分で組み立てる練習ができます。
- 解説では、難しい文法用語をできるだけ使わないようにしていますので、英文法が苦手な方、もう一度英語をやり直そうとする方が楽に読み進められるようになっています。
- 通勤・通学途中などの揺れる電車内でも読みやすいように、英語の表現はなるべく 2 行に分かれないようにしています。
- 付属の CD には、見出し文と Step にある例文の音声を収録していますので、自然な発音やイントネーションを身につけることができます。
- 本書には基本的な文法や動詞の変化表をまとめた「文法の復習」ページがあります。基本文法の確認にご活用ください。

本書の使い方

付属 CD のトラック番号です。
CD には例文 (英文のみ) を収録しています。

このユニットで扱う文型です。

まずは見出し文を声に出して読みましょう。

文型の解説と使い方の説明です。

基本パターンをもとに段階を追ってパリエーションを学習します。

1 103
I'm ... 「私は～です」

I'm Yoko Marukawa.
私は丸川洋子です。

I am ... は自分の名前や職業、年齢や状態 (忙しい、元気) など「私は～です」という時に使います。会話では短縮形の I'm をよく使います。

Step 1 I'm + 名詞。(私は～です)

□ **I'm a sales representative.** 私は営業部長です。

自分がどんな人である、と言う時には、I'm a + 名詞、で表します。名詞の前に付いている a (または an) は冠詞と呼ばれ、「ひとつの、ひとつの」を意味します。

I'm ...

an engineer (エンジニア)	a sales clerk (販売員)
a banker (銀行員)	a consultant (コンサルタント)
a teacher (先生)	a student (学生)
a stay-at-home mom [dad] (専業主婦 [夫])	

文の基本的な作りはそのまま、より多くの表現ができるよう、用途に応じて入れ替えができる単語や表現を紹介しています。

この Step で扱う文型を使った実用的な例文です。例文の文法解説、使い方、便利な追加情報も紹介しています。

I'm ... 「私は～です」

I'm Yoko Marukawa.

私は丸川洋子です。

I am ... は自分の名前や職業、年齢や状態（忙しい、元気）など「私は～です」という時に使います。会話では短縮形の I'm をよく使います。

Step 1 I'm + 名詞. (私は～です)

- I'm a sales representative. 私は営業部員です。

自分がどんな人である、と言う時には、I'm a + 名詞. で表します。名詞の前に付いている a (または an) は冠詞と呼ばれ、「ひとつの、ひとつの」を意味します。

入れ替え
()

I'm ...

an engineer (エンジニア)

a banker (銀行員)

a teacher (先生)

a stay-at-home mom [dad] (専業主婦 [夫])

a sales clerk (販売員)

a consultant (コンサルタント)

a student (学生)

Step 2 I'm + 形容詞. (私は～な状態です)

- I'm busy now. 私は今、忙しい。

busy は「忙しい」という意味です。まずは自分のことを簡単に説明できる形容詞をどんどん覚えましょう。

入れ替え
()

I'm ...

happy (嬉しい、楽しい、幸せな)

in a hurry (急いでいる)

at a loss (途方に暮れている、困っている)

nervous (緊張している)

blue (憂うつな、気分が減入っている)

very tired (とても疲れている)

bored (退屈している)

sleepy (眠い)

hungry (お腹が減っている)

allergic to pollen (花粉症である)

- **I'm thirty-two years old.** 私は32歳です。

自分の年齢は、I'm + 数字 + years old. の形で言い表します。years old は省略してもかまいません。I'm の次に not を入れると、「私は～ではない」という否定文になります。

- **I'm glad to meet you.** お会いできてうれしいです。

初対面のあいさつです。I'm を省略して Glad to meet you. とも言います。

入れ替え
()

I'm ... to meet you.

happy (幸せだ)

pleased (うれしい)

honored (光栄だ)

Step 3

I'm + 前置詞 + 名詞 . (私は～です)

- **I'm from Kurashiki.** 私は倉敷出身です。

この from は「～出身(の)」という意味です。I'm from + 地名. で自分の出身地が言えます。最後に in Japan を付けると、「日本の～出身」となります。

- **I'm into cooking now.** 私は今料理にハマっているんです。

be into ... は「～に熱中して、没頭して」という意味。「～にハマっているんだ」は I'm into + 名詞. で言い表します。

入れ替え
()

I'm into ...

soccer (サッカー)

jogging (ジョギング)

karaoke (カラオケ)

rock music (ロック)

You are ... 「あなたは～です」

You are a very good cook.

あなたはとても料理上手ですね。

「私」と「あなた」で、人間の会話は成り立ちます。英語では「あなたは」「あなたたちは」のように、相手が単数・複数どちらの場合でも、代名詞 **You** で表します。「～です」にあたる **be** 動詞と呼ばれる部分は **are** になり、「あなたは～ですか」と尋ねる場合は、ひっくり返して **Are you ...?** とします。

Step 1 You are + 名詞 [形容詞] . (あなたは～です)

- **You are amazing.** 君はすごいよ。

You are + 形容詞 . のパターンです。an amazing person にすると「すごい人」となります。amazing の部分をほかの語に入れ替えてバリエーションを増やしましょう。

入れ替え
()

You are ...

great (すごい)

cute (かわいい)

beautiful (きれい)

smart (頭がいい)

right (正しい)

wrong (間違っている)

- **You are welcome.** どういたしまして。

「ようこそ」「いらっしゃい」と歓迎する時にも、「どういたしまして」とお礼に対して返答する時にも使える表現です。Thank you. (ありがとう) → You're welcome. の流れで覚えておきましょう。No problem. や Not at all. も同じ意味です。

- **Are you finished?** もうお済みですか。

You are ... の順序を逆にして Are you ...? にするだけで、疑問文を作ることができます。食事や仕事が終わりましたか、ということです。with your food を後ろに付けると、「お食事はもうお済みになりましたか」という意味になります。I'm finished. (もう終わりました) も一緒に覚えておきましょう。

- **Are you ready?** 準備はいいですか。

出かける時、会議やプレゼンの前など、いろいろな場面で使える表現です。「～の準備はいいの?」という時は、後ろに《for+ 名詞》を付けます。例えば「学校の準備はできてる?」と尋ねる時には Are you ready for school? となります。

- **Are you available now?** 今、手が離せますか。

available [アベイラボゥ] ([人の] 手が空いている, 応じられる) は Are you available for the meeting this afternoon? (午後の会議に出られますか) のように使える便利な語です。「はい, 大丈夫です」という場合は Yes, I am., ダメなら I'm afraid not. (すみませんが, できません) と返しましょう。

- **Are you good at playing sports?** スポーツは得意ですか。

be good at ... は「～が得意だ」という意味です。返事は基本の形を使った Yes, I am. (はい, 得意です) や No, I'm not. (いいえ, 苦手です) だけでなく, Not very. (あまり得意ではない) や I'm OK. (まあまあだと思う) も覚えておきましょう。

I can ... 「～できる」

She can swim, but I can't.

彼女は泳げるけど私は泳げない。

「～ができる」は助動詞 **can**, 「～ができない」と言う場合は **can not** を省略した **can't** を使います。後ろには動詞の原形を続けます。

Step 1 I can ... (～できる)

□ I can speak English only a little.

私は英語をほんの少しだけ話すことができます。

only a little (ほんの少しだけ) が、「英語といっても、ほんのちょっとですよ。片言です」というニュアンスを出しています。

□ I can do without tobacco. 私はタバコなしでも平気だ。

without は「～なしで」を意味します。この do without ... は「～なしですます」という意味で、否定形の can't do without ... にすると「～なしではいられない」となります。

Step 2 I can't ... (～できない)

□ I can make it on Tuesday. 火曜日は都合がつかず。

make it には「都合をつける」という意味があります。相手に都合を尋ねる場合は、Can you make it next Sunday? (今度の日曜日でご都合はいかがですか) のように言います。

- **I can't afford a new car.** 私には新車を買う余裕はない。

can't afford ... は「～を買う [持つ/取る] 余裕がない」です。

入れ替え
()

I can't afford ...

a new computer (新しいコンピュータ)
expensive jewelry (高価なアクセサリ)
holidays (休日)
the rent (家賃)

- **I can't stand that noise any longer.**

あの騒音にはもう我慢できない。

can't ... any longer は、「もう～できない」ということ。stand は「立つ」のほかに、「～を我慢する」という意味もあります。

- **I really can't thank you enough.**

お礼の申し上げようもありません。

enough は「十分に」という意味なので、「どんなにお礼を言っても言い足りない」という場合にこう言います。定型表現なので、このまま暗記しましょう。

知っ得!

I can't + 動詞 (～できない) で、会話が広がる!

can't は、イギリスでは「カーント」とのぼして発音するので誤解することはないのですが、アメリカでは「キャント」と言い、終わりの「ト」がはっきりと聞こえないことがあるため、can なのか can't なのかを判断しにくいことがあります。can't の時は少し強調して言うようにしましょう。

You can ... 「～してもいいですよ」

You can take this umbrella.

このカサを持って行っていいよ。

「～してもいい」という許可, 「～することができる」という可能から, 否定文で「～してはいけない」という(軽い)禁止まで, **You can ...** (否定文は **You can't ...**) で表すことができます。

Step 1 You can ... (～してもいいですよ)□ **You can have this, Susie.**

スージー, あなたにこれを差し上げます。

「これを持っていていいですよ」が「これをあげます」になるわけ
です。もう一つ簡単な表現に, **This is for you.** があります。

□ **You can keep the change.** おつりは取っておいてください。

この **change** は「つり銭, 小銭」という意味で, チップをあげる
時のひと言です。You can を省略して, 単に **Keep the change.** と
も言います。相手におつりを渡す時は, **Here's your change.** (はい,
おつりです) と言って渡します。

□ **You can say that again.** まったくそのとおりです。

「(もう一度言ってもいいぐらい) おっしゃるとおりだ, 本当にそ
うだ」と, 相手の意見に賛成していることを伝える決まり文句として,
会話でよく用います。ほかに, **You said it.** という言い方もあります。

- **You can use the elevator now. The inspection is done.** もうエレベーターを使えますよ。点検は終わりましたから。

inspection は「点検」という意味です。done の一言で「済んだ」ことが伝わります。もし **You can't use the elevator.** と言われたら、**It's out of order.** (故障中) や、**It's under repair.** (修理中) という理由が考えられます。

Step 2 You can't ... (～してはいけない, ～できない)

- **The city hall is on your left. You can't miss it.**

市役所は左手にあります。すぐにわかりますよ。

miss は「～を見逃す, ～がいなくて寂しい」といった意味がありますが, ここでは前者。can't miss は「(見逃すなんてありえないくらい) すぐわかる」ということです。

- **You can't tell anyone.** 誰にも言っちゃダメだよ。

こちらは「～してはいけない」という禁止を表します。can't に省略された not と anyone で、「だれにも～ない」となります。

Let's ... 「～しましょう」

Let's go.

さあ、行こうか。

私たちは日常生活において、親しい友人や同僚、その他いろいろな人に提案や勧誘をしています。そんな時に言う「～しよう」は、前 unit, Step 2 の **Shall we ...?** のほかに **Let's ...** で表現します。**Let's** は **Let us** の短縮形で、後ろには動詞の原形が続きます。

Step 1 Let's ... (～しよう)

- **Let's get started.** さあ、始めましょう。
会議や授業の始めによく使われます。**Let's start [begin].** と意味は変わりませんが、会話では **Let's get started.** のほうが一般的です。
- **Let's eat out today.** 今日は外食にしよう。
eat out で「外で食べる」なので「外食する」となり、よく使う表現です。**Yes, let's./ Sure.** (うん、そうしよう) や、**No, let's not./ I'd rather not.** (いや、やめておこう)、または **I don't feel like going out.** (外出する気分じゃない) などと答えてみてください。
- **Let's take a nap.** 昼寝でましょう。
take a nap は「昼寝する、仮眠を取る」という意味です。
- **Let's meet at eleven o'clock in front of the station.** 11時に駅前で会いましょう。
この「(場所)で～時に会いましょう」は便利な表現です。時刻と場所を取り替えて使ってみましょう。**in front of ...** は「～の前で」という意味です。**front** は [フロント] ではなく [フラント] と発音します。

- **Let's wait and see, shall we?** しばらく様子をみてみようか。

Let's ... の文に「～しましょうか」というニュアンスをさらに加えるには、後ろに shall we? を付けます。Let's ... と Shall we ...? は同じ意味なので、こうした形（付加疑問文）で一緒に使うことができます。答え方は、Let's ... の文と同じです。

- **Let's not spend too much money.**

あまりお金を使わないようにしましょう。

Let's の後ろに not を付けると、「～しないようにしよう、～するのはよしましょう」となります。返事は、Right. (そうだね), Okay. (わかった), Sure. (もちろん) などがあります。

知っ得！

誘いを断る時は理由も言おう！

Let's ... (～しよう) という誘いを断る場合、単に No, let's not. とだけでは冷たく聞こえるので、I'm very busy. (とても忙しいのです) や、I have to go out with my wife today. (今日は妻と出かけなければなりません) のように、「断る理由」を付け加えるようにしましょう。

What's ...? 「～は何ですか」

What's that?

あれは何ですか。

What (何を), Who (誰が), When (いつ), Where (どこで), Why (なぜ), How (どのように) の, いわゆる **5W1H** と呼ばれる表現の一つです。
What + be 動詞 + 名詞 [代名詞] で「～は何?」と尋ねることができます。

Step 1 What's + 名詞? (～は何ですか)

□ What's your phone number?

あなたの電話番号は何番ですか。

電話番号を聞く定番表現です。phone number を address にすれば住所を, e-mail address なら E メールアドレスを尋ねる表現になります。

□ What's the name of this song? この曲のタイトルは何?

What's the name of ...? は, 物の名称, タイトル, 店名などを尋ねる表現です。



What's the name of ...?

the TV show (テレビ番組) the movie (映画)
 the book (本) the game (ゲーム)
 the shop (店)

Step 2 What's ...? を使った慣用表現

□ What's going on here? どうしたんだい?

「どうしたの?」や「何やってるの?」と尋ねる定型表現です。Is everything all right? も「大丈夫?」と聞くのにもいつでも使える表現です。明らかに困っていたり、身体の具合が悪そうな人に対しては、What's the matter? や What's wrong? (どうかしましたか) という言い方もあります。

□ What's the time? 今、何時ですか。

What time is it (now)? と同じ意味の表現です。これに対して、It's three o'clock. It's tea time. (3時だ、お茶の時間だね) のように答えます。

Step 3 What's ...? のバリエーションを使ってみよう!

□ What's she like? 彼女はどんな人?

「~のような」という意味の前置詞 like が付くと、「~はどのような感じ?」と様子や人柄などを尋ねることができます。この表現は人以外にも使え、What's Canada like in winter? (冬のカナダはどんな感じですか) のように言うこともできます。

□ What's he here for? 彼はいったい、なんでここにいるんだ?

What ... for? で「何のために」です。What's that for? なら、「それは何のためのものなの?」、What are you doing it for? なら「あなたは何のためにそれをやっているの?」となります。

How's ...? 「～はいかがですか」

How's your mother, Brian?

ブライアン、お母さんは元気？

How は「どんな～?」「～はどう?」と、様子・健康状態・天候・景気などを聞く時に使う疑問詞です。**How are you?** は「お元気ですか」と相手の様子を尋ねる表現で、返事は **Great, thanks.** (元気だよ)、**Not bad.** (まあまあかな)、や **I have a cold.** (風邪ひいちゃった) など、いろいろあります。その後に **(And) You?** と聞き返し、会話を続けましょう。

Step 1 How is ...? (～はいかがですか)

□ How is your family? ご家族のみなさんはお元気ですか。

定番のあいさつ表現です。**How is** を短縮して、**How's** とも言います。返事には **they** を使って **They are fine.** (元気だよ) のように答えます。

□ How's it going? 調子はどう?

「元気? 調子はどう?」という意味。**How's everything?** や **How are things?** とも言います。返事は **Fine, thanks.** (元気だよ)、**Same old, same old.** (相変わらずだよ)、**Not bad.** (まあまあかな) などがあります。

□ How's the weather today? 今日の天気はどう?

「晴れ」なら **It's fine.** もしくは簡単に **Fine.** と答えましょう。**clear** は「雲ひとつなく晴れている」、**sunny** は「日が照っている」という時に使います。**It's cloudy.** (曇りです) や **It looks like rain.** (雨になりそうです) なども状況に応じて使ってみましょう。

□ **How is your chicken?** チキンはどう? (=おいしい?)

食事のとき「～はおいしい?」と尋ねる時に使います。It's great. Do you want some? (おいしいよ, ちょっと食べる?), It's OK. (まあまあかな), It's not so good. (あんまりおいしくない) などの返事があります。

Step 2 **How was ...? (～はどうでしたか)**

□ **How was your vacation?** 休暇はどうだった?

be 動詞の is を was にすると、過去の出来事の感想を尋ねることができます。返事は「楽しかった」なら It was fun. や I had a great time., 「まあまあ」なら It was OK. などがあります。How did your vacation go? も同じ意味の質問になります。

□ **How was your trip to Hokkaido last week?**

先週の北海道旅行はどうでしたか。

trip to + 地名で「～への旅行」になります。返事はひとつ前の It was fun. (楽しかった) などを使って答えましょう。ちなみに「お土産」は souvenir [スーベニア] と言います。

知っ得!

まだまだある「元気?, 調子はどう?」という意味の英語表現。

How are you? や How's it going? のほかに、友達同士では What's up? とも言います。大阪弁の「もうかりまっか」は英語で言うと、How's business? となります。

I'm sorry (that) ...

「～を申しわけなく思う、残念ながら～です」

I'm sorry I'm late.

遅くなってゴメン。

sorry には、「すまないと思って、申し訳なく思って」と、「残念に思っ
て、気の毒に思っ」の意味があります。親しい間柄では、**I'm** を省略し
た **Sorry** も使います。謝っている相手に「いいんですよ」と答える場合には、
That's all right. や **That's OK.** などがあります。

Step 1

I'm sorry but I can't ... (残念ですが [すみませんが] ~
できません)

□ Can you help me?

— **I'm sorry, but I can't help you now.**

手伝ってくれる？—ごめんなさい、今ちょっと手伝えません。

手伝えなくてゴメン、という時に。I'm sorry, but I can't. (申し
訳ないけどできないんです) とも言います。

□ I'm sorry, but I can't meet your needs.

申し訳ございませんが、ご希望にそいかねます。

ここの **meet** は「(要求・希望など) に応じる」という意味です。
I can't のところを **we can't** にすると、「当社は、当店は」の意味が
出ます。

□ I'm sorry, but I'm having some company this afternoon.

ごめんなさい、今日の午後はお客さんが来るんです。

have company で「来客がある」という意味です。相手の誘いや
依頼を丁寧に断る場合には、このように理由を添えて言うといいで
しょう。

Step 2

I'm sorry (that) ... (～してすみません, ～を申し訳なく思う)

□ **I'm sorry I didn't answer your call.**

電話に出なくてごめんね。

answer *one's* call は「～からの電話に出る」です。この後ろに I was in the middle of something. (ちょっと手が離せなかったんだ) と理由を続けましょう。

□ **I'm sorry to have kept you waiting.**

お待たせしてすみませんでした。

人を待たせた時の定型表現です。丸ごと覚えておきましょう。文の最後に so long をつけると、「長い間待たせてすみません」になります。I'm sorry to keep you waiting. にすると、「(今) 待たせてごめん」という感じになります。

□ **I'm sorry to have troubled you so much.**

いろいろとご面倒をおかけして申し訳ありませんでした。

trouble は「～に迷惑をかける」という意味で、例文は日本語の「お手数をかけました」にあたります。お世話になった人にこう言い、その後に Thank you for everything. (いろいろありがとうございました) を加えましょう。

知っ得!

「お気の毒に」という意味の I'm sorry.

I'm sorry. には「気の毒に思う」という意味もあります。何か悪いニュースを聞いて「それはお気の毒ね」と言う時に I'm sorry. を使います。よく使われるものに I'm sorry to hear that. (それはお気の毒に) という表現があります。

文法の復習

日本語では、主語を省いても、言葉の順序を入れ替えても、多くの場合意味が通じます。しかし英語では、ほとんどの文が基本的に主語＋動詞で成り立っており、この順序を変えたり、主語を省略したりすることはできません。はじめは窮屈なルールのように感じるかもしれませんが、決まった型に単語を当てはめていけば、きちんと伝わる文を作ることができます。

品詞の種類

❖ 名詞

人やモノの名前のことで、dog (犬) のように数えられる名詞と water (水) のように数えられない名詞があります。数えられる名詞には単数形と複数形の区別があり、単数形は前に冠詞の a または an を、複数形は語尾に s を付けます。

winter (冬) **a bicycle** (1台の自転車)
three pens (3本のペン)

❖ 代名詞

名詞の代わりになる語で、主に **this/ these** (これ [ら]) や **that/ these** (あれ [ら]) のように物事を指す指示代名詞と、人に関する人称代名詞があります。

I want this. (私はこれがほしい)
That is Tom's house. (あれがトムの家だ)

◆ 人称代名詞 ◆

単複	人称	主格 「～は」 (主語になる)	所有格 「～の」*1 (名詞の前に付く)	目的格 「～を／～に」 (動詞の目的語になる)	所有代名詞 「～のもの」*2	再帰代名詞 「～自身」*3
単数	1 人称 (私)	I	my	me	mine	myself
	2 人称 (あなた)	you	your	you	yours	yourself
	3 人称 (彼 彼女 それ)	he	his	him	his	himself
		she	her	her	hers	herself
	it	its	it	-	itself	
複数	1 人称 (私たち)	we	our	us	ours	ourselves
	2 人称 (あなたたち)	you	your	you	yours	yourselves
	3 人称 (彼ら)	they	their	them	theirs	themselves

*1 本文解説中の one's は、文脈の人称に合わせて適当な所有格(所有冠詞)を入れます。

*2 具体的な人名+「～の(もの)」という場合は、-s とします。

*3 本文解説中の oneself は、人称に合わせて適当な再帰代名詞の形に変化させます。

❖ 動詞

文を作るためのもっとも重要な要素です。be 動詞と呼ばれる動詞は、主語と動詞の後ろに続く語を「(主語)は～である」というように、イコールの関係で結びます。それ以外の一般動詞と呼ばれる動詞は、主語の具体的な動作や状態を表します。

John is an American. (ジョンはアメリカ人だ)

主語 be 動詞

He buys a book. (彼は1冊の本を買う)

主語 動詞

大井 正之 (おおい・まさゆき)

大阪生まれ。関西外国語大学英米語学科卒業。英語研究において、旺文社主催日総理府・文部省後援の「全国学芸コンクール」社会人の部、研究論文部門で3度受賞する。発表論文は、『英語における小説の発生』、『英語の語彙と言語研究』、『英語と米語の違い』。

旺文社『全国大学入試問題正解 (通称電話帳)』(国公立大編、私立大編)の解答・解説の執筆担当、およびベネッセコーポレーションの大学受験講座の教材、付録の執筆・監修、高校教師などを歴任。

OFFICE OOI 英語研究所代表。著書に、『日本人だけが間違える英語』(実業之日本社)、『英会話 English セラピー』(KK ロングセラーズ)、『瞬間英文法』、『瞬間英熟語』(以上、学研)、『トレーニングノート英文法β』(受験研究社)、そのほか海外翻訳物など多数。

現在、講演・授業・各種英語関係書の監修から、実用書、小説の執筆まで、多方面にわたって活躍中。

本書に関する著者へのご質問は (株) 語研編集部まで。



© Masayuki Oi, 2013, Printed in Japan

基本マスター BASIC 英会話

2013年 1月10日 初版第1刷発行

著者 大井 正之
制作 ツディブックス株式会社
発行者 田中 稔
発行所 株式会社 語研
〒101-0064
東京都千代田区猿樂町 2-7-17
電話 03-3291-3986
ファクス 03-3291-6749
振替口座 00140-9-66728

印刷・製本 シナノ書籍印刷株式会社

ISBN978-4-87615-266-7 C0082

書名 キホンマスター ベーシックエイカイワ

著者 オオイ マサユキ

著者および発行者の許可なく転載・複製することを禁じます。

定価はカバーに表示してあります。

乱丁本、落丁本はお取り替えいたします。

株式会社 語研 GOKEN

語研ホームページ <http://www.goken-net.co.jp/>

【付属 CD について】

見出し文と例文 (英語のみ) を収録。

CD 収録時間: 55分 25秒